

## 歐米の保育狀況(一)

大阪市船場幼稚園長

上 島 直 之

### は し が き

私が昨年約一ヶ年間歐米の教育視察中に幼稚園を見て、我國のそれと對照して感じた事が多くあつた。其中の主なるものに就て少しく述べて見たいと思ふ。歐米と言つても幼稚園を見たのは實は獨、英、米の三ヶ國で然も餘り數多く見たのではないから、私の言ふ所が歐米一般に通じた事でないかも知れぬが、少くも私の實際見た丈の幼稚園ではかくあり、又私が斯く感じたと言ふ事は間違のない事である。以下逐條的に述べる。

#### 一 園兒の數少く且つ一保姆の擔任する幼兒數も少き事

英國は別として他の國で何百と言ふ幼兒を收容して居るものは極く少ない。又一保姆の擔任して居る幼兒數も我國のよりは少いやうである。

ベルリンのアウグスタ女學校附屬幼稚園は三歳乃至六歳で二十九名、これに主任保姆一名と助手保姆一名、女學校の上級生で保姆志願者の練習生二十八名であるから、兒童一名につき一名の保姆の割合となる。

ベルリンのナホスト町の幼稚園は、四十人の幼児を收容し、保姆二名を置いて居る。

英國ではキングダーガーデン(幼稚園)と言はずに、インフアントスクール(幼學校)と言つて、學校系統の中に繰り込み、學校式であるから可なり大なるものがある。例へばロンドンのマンスタードの幼學校では、四百人を十學級に組織して居るから、平均一學級四十人となるが、學級に教師二名を配置して居るから、一人平均二十人の擔任となる。

紐育のホレスマンの幼稚園は、コロンビア大學のチーチャースカレッツの附屬練習所になつて居るから、設備も完備し、保育も參考となるものが多い。此園の人員は次表の通りである。

年 齡	幼兒數	保 姆	助 手
A (二歳六ヶ月—四歳)	一五	一	若干(學生)
B (四歳—五歳)	二五	一	一
C (五歳—六歳)	六〇	四	

A、Bの二組は小さい保育室で別々に保育されて居るが、C組は大なる保育室で總ての保育材料を備へ、此中で四つに分團されて居る。全部で百人の園児を有して居るから、歐米としては非常に大きな方である。一保姆の擔任兒童數は十五名を超さなす。

シカゴ大學の附屬幼稚園は、二十人餘で保姆二名となつて居る。

日本でも私立の幼稚園では、兒童數が比較的少いやうであるが、公立の幼稚園特に大阪は非常に多いやうである。私の幼稚園は二百名を超えて居る。種々の設備や、施設をする上に人數の少いのは便宜であるが、團體生活、社會生活になれしめる爲には、全體としての人數が多い事は寧ろ望ましい事ではあるまいか。然し一保姆の擔任する兒童が多い事は、保育の本質上から考へて無理な様に思ふ。

## 二 個別的又は自發的の取扱を重んずる事

幼稚園は日本でも兒童の個性を觀察し、個別的に取扱ふ事は小學校よりは餘程進んで居るが、手技等とはかく一組同一材料で一齊的に取扱ふ傾きがある。歐米では團體遊戲とか、唱歌とか云つた全部一齊に取扱ふのを必要とするものゝ外は全部個別的取扱をしてゐる。又自發的活動を非常に重んじて居る。次に私の見た實際や又其園の保育の方針とする所等で此點に關した事を述べる。

### 〔1〕 ベルリンのナホスト幼稚園

私の行つた時には、丁度作業室で各自思ひ思ひの作業をして居た。(此園はモンテツソリー式のものである。獨逸はフレールベルを出した國故フレールベル式の幼稚園も多いが、又モンテツソリー式の幼稚園も可なりあつて盛に研究をして居る。)各自異なる仕事をして居る時に、保姆は一々これを指導誘發して居る。飽いてくれば他の仕事に移ると言ふ風である。試に私の此時の仕事で記憶して居る丈けを擧げても次のやうに多い。

イ、數字と對照して小石を其數丈け列べる事

ロ、アルハベットの觸覺練習及發音

ハ、鈕の入れ方、紐の結び方

ニ、積 木

ホ、箆 木

ヘ、畫 方

ト、切抜文字を並べて言葉を作る事

## チ、玩具、物品と其名稱を合はす事

### 〔2〕 ロンドンの幼稚園

前に述べたやうに、英國のは學校と名づける丈けに形式的で訓練的である。前は小學校と同様に、讀方、書方、算術の各科に試験を課したものであるが、近頃は段々自由の精神に於て又教科の性質、教授の方法に於て他國の幼稚園に近くなつて來て居る。一のクラスは同時に同一の科目を取扱つて居るが、それでも兒童の能力に應じて、各種カード、繪畫、玩具等を使用して、全くの個別的學習である。

### 〔3〕 紐育のホレースマンの幼稚園

此園の保育方針に擧げてある所を見ても、如何に個別的、自發的取扱を重んずるかを知る事が出来る。次に方針中に問題に關係した方面のみを擧げる。

イ、幼兒自體發育に留意の項に……活動を獎勵すべき環境及材料中に於て運動の自由を重んず

ロ、個別的取扱によつて知識を成長せしめる

ハ、幼兒側への要求……色々な材料を以て彼自身の問題を實行せねばならぬ。兒童は出来る丈け目的を立て、立案し、實行し、而して其結果を批評せねばならぬ

ニ、教師側への要求……兒童に願はしい環境を供給して、兒童が段々と仕事のスタンダードを高めるやうにせよ。

告げ知らせ、暗示、必要な時は批評に於て助けよ。兒童が彼自身の價值ある問題を持たない時、或は仕事の或タイブに向つて必要であると考へた時に問題を與へよ

ホ、教師は幼兒を個々に取扱ひ、彼等の仕事と進度を注意して記録する事

又保育材料の選擇について見ても、教師側から突發的に提出するのではなく、成るべくならば幼兒側から材料を引き出す事

に勉め、已むを得ない時に教師が暗示を與へる事になつて居る。即ち保育の仕事は教師及幼兒の兩方の側から供給する事である。

イ、保育室及園に設備された環境から、幼兒の感應によりて選ぶ。此環境は靜止的ではなく、幼兒の發達に應じて變へる

ロ、教師及幼兒の直接の暗示から

幼兒が園以外の經驗から得て之を全體の研究に移したいと願ふ教材。……例へば或兒が繭を園に持ち來たしたならば、之は蠶 び絹に就て論議するやうに全體を導く。教師が價值ありと考へ、又團體の仕事として願はしいと思つた材料。……例へば、一兒童がテーブルカバーを造つた。そして其を如何に裝飾すべきかを知りたいと願ふ時に教師は全體に暗示を與へて、他の兒童にも新しい裝飾の方法に興味を持つてくるやうにする。

ハ、尙此外に材料は曾て幼稚園で兄弟を持つた兒によつて、或活動が年々繰りかへされる等傳承的に選ばれるものも數多し。

實際保育の様を見るのに、各自作業の時間には幼兒は各自の問題を選ぶから、仕事は各種多様である。詳細は次項の問題で詳細に述べる事にする。

### 三 フレーベルやモンテツソリーの恩物以外に重要な

#### 保育材料の多い事

日本でも此等恩物の外に、種々考案されて居るやうではあるが、何れかと言へば、此等恩物を崇拜し過ぎる傾きはないかと思はれる。勿論此等の恩物は非常な研究の結果生れたもので、保育上重大な意味を有するものである事は否定するも

のではないが、此等が人生の全體、保育の全體ではないことは明である。少くも實際生活に密接せしめる上からは、此等恩物の外に活材料を求めなければならぬ。此點に於て歐米では可なり注意されて居る。

〔1〕 ベルリンのアウグスタの幼稚園

手工製品を見ると廢物利用が可なり行はれて居る。例へばマッチの空箱を天秤の皿や、家の土臺、引き出し等に利用し、鉛筆の使ひ残りともマッチの軸木で小さい人形を造る等、創作的のものであると共に、經濟節約と云つた方面にも觸れると思ふ。

又保姆の造つた玩具も多くあつて、中に色々のタイプの建物があつた。此は實際上の知識を授けるに役立つ。又市場の家、賣臺があり、色々の品物を用意し、古い貨幣で賣買の遊びをして居るのを見たが、之も亦實際生活に密接に結びついたのである。

又兒童の植物園があつて各兒の擔任場所を定められ、各自に種々の植物を培養して居る。此收穫物は小さい料理器があつて料理して食するやうになつて居る。自然と親しみ勤勞の習慣を養ふ外に料理と云ふ日常生活に餘程觸れて居る。

〔2〕 紐育ホレスマンの幼稚園

此園の實際の保育方法は、此問題及び前の問題に餘程參考になるから詳細に述べる。

イ、一日の仕事の割當(最下級は省く)

八時四五分—一〇時

到着、靴ハキカエ、各自作業

一〇時—一〇時三〇分

御話、唱歌(全級)

一〇時三〇分—一一時

ランチの用意及ランチ

一一時—一一時一〇分

休憩

歐米の保育狀況

一一時一〇分—一一時三〇分

靴ハキカエ、皿洗、御話

一一時三〇分—一二時

色々な活動、遊戯、戸外遊び、遠足等

此表を見ても分るやうに、所謂恩物は各自作業の一部に於て取扱はれるのみで、之よりも寧ろ他の仕事に力を入れて居るやうに思はれる。

序にシカゴ大學附屬幼稚園の一日の仕事を次に擧げる。

八時四五分—九時一五分

各自選擇作業

九時一五分—九時三〇分

遊戯(律動)

九時三〇分—九時四〇分

競争遊戯

九時四〇分—一〇時

談話

一〇時—一〇時四五分

社會生活及自然研究に關した作業

一〇時四五分—一一時一五分

戸外遊び

一一時一五分—一一時四五分

音楽及文學

一一時四五分

放課

口、實際作業

○登園

園に來る

外套室に行く

自分の事は自分でするやうに導く

自分の戸棚を見出す

外套をぬぐ……敏捷に外套をぬぐ習慣を養ふ

帽子外套を掛け、手袋等を所定の場所に置く……ボタンのかげはづしを習ひ自己の品物を整頓する習慣を與へる  
辨當を所定場所に置く……

室に來り先生及兒童に會ふ……挨拶を覺へる

靴をかへる……紐の練習

エプロンをつける……他人を助ける

### ○作業の選擇

登園し準備終れば直ちに各自の仕事を選択する。此時保母は必要であれば選擇を導く。共同作業を要する時は世話する。此仕事の間保母は絶へず各幼兒を暗示、補助、批評等によつて最上の活動をするやうに指導する。

或者は動物に食物をり又掃除する。或者は植物に水をやる。或者は次のやうな材料を使用する。

積木、砂、書物、人形、粘土、鉛筆、クレオン、ペーパー、木片、布片等

積木……ヒルの積木、他の小さき積木、人形、椅子等積木は自分で取り出し自分で片づける。

多くは自ら團體を作り、リーダーを選んで作業する。一同で目的を定めてから仕事にかゝる。製作物の主なものは

家、病院、店、要塞、ボート、車、汽車

等である。

### 玩 具

木栓と板 穴に色をつけた木栓をさして一定の配列をする

珠數玉 各種の色ありて糸にさして色の排列

歐米の保育狀況



タイル 大きなセメントタイルの並べ方、色々に排列して模様を作る

色立方體 模型に従ひ又創作的に種々に組立てる

砂遊び

砂箱、白砂、砂、木サジ、計量カップ、木の玩具(汽車、動物、介殼等)

粘土細工

砂遊び 粘土細工は我國と大體同じ

木工

室の一隅に一個の細工臺ありて、材料としては色々の長さ及廣さの半インチの柔き松板、軸及びテーブルの脚等を作る爲めに長い木を用ひ、道具としては、ハンマー、鋸、メートル箱、錐、カスガヒ、丁規、ネジ廻シ、サンドペーパー等を備ふ。僅かに細工臺一個と小數の道具なれども、一齊的に取扱はないから十分之で間に合ふ。個別的取扱は經濟方面から考へても必要である。

木工の製作品の主なものは

簡單な器具(人形のベット、テーブル、イス、腰掛等)

乗物(馬車、ボート、手押車、汽車等)

實用品(箱、本立、状挿し、額縁等)

此等の製作物にはペンキ等で裝飾する。

此材料は餘程實用的で兒童の生活に密接なものがある。

記憶畫では花、家、人、動物、ボート、汽等の多いのは何國も同じである。

水彩畫を上級に課して居るのは一寸進んで居る。

クレオン畫は、一尺二寸に一尺八寸と云ふ大な紙に畫かして居るのは注意するに足る。

其他、チヨークによる黑板畫及鉛筆畫を課して居る。

### 裁縫

道具は小さい箱に收めてあつて、針、鋏、ピン、針山、鈕、指ヌキ等である。

人形のきもの、エプロン、ベッドのシート、枕及袋等縫ふて居る。裁縫を幼稚園に課する事が既に實用的である上に、人形のものを作る事は兒童の實生活として誠に有意味のものである。

### 人形遊び

各種人形、衣服、人形の道具。

人形に着物を着させ又ぬがす。靴をはかす。料理をして飯事。人形をベッドに寝かす。人形を乳母車に乗せて引き歩く等、兒童生活の實際を捕へて然も將來實際生活に資する事となるであらう。

### 家事

床掃除、卓子掃除、皿洗ひ、人形の着物ベット敷布を洗ふ事、書物の整理、エプロン洗濯及コテかけ。アツプルン  
ースを作る事。バタ及アイスクリーム穫作等の作業がある。女子には適切な材料であると思はれる。

### 其他

紙細工(切抜、折紙、厚紙細工)等あれど、大體我國のそれに類似す。

### ○御話

歐米の保育狀況

言葉の練習は、終日各時間共重要であるが、特に御話の時間は、保姆が十數人を集めて色々の御話をして後、幼児はそれについて質問したり又議論したりする。又簡単な御話を幼児自身にすることもある。

○音 樂

歌ふ事よりも先づ音楽を聴いて耳を練り、情操を味ふ等の方面を重んじて居る。

音楽を聴いてリズムに感應する。此時に身體の運動を伴つて居る、此時の選擇の標準は

- 一、高き標準の音楽
- 二、形式調和に於て簡單なもの
- 三、餘り長くないもの
- 四、色々のタイプ

各種のタイプの音楽に感應する。

- 一、高い調子、低い調子
- 二、時、速い、遅い
- 三、描寫的の音楽、例へば  
シユウマンのウワイルド・ライダー  
メンデルソンのミッドサンマー・ナイトドリーム  
マクドウエルのウキツチ
- 四、ダンスの音楽、例へば  
ガホツテ、ミニユート

唱歌は各兒童入園の初にテストを行ひ、發聲の能力によりて三つに分園して居る。

歌詞の選擇は

- 一、思想及表象が小供らしいもの
- 二、彼等によく理解され、且興味あるもの
- 三、文學上の價値を有するもの
- 四、短きもの

#### ○ラン チ(食事)

前の表に擧げたやうに、此園では毎日十時半頃から、簡単な食事日本で言へば「御茶を入れる」位の程度なもので、幼兒各自に牛乳や、菓子や、果物やを持つて來てそれを食べるのである。此のランチを一の重要な保育材料として居る。此時の仕事物幼時に何を要求して居るかを次に示す。

手を洗ひに化粧室に行く爲に室を數名づゝ横ぎる。

テーブルにつく。

食 事。

室内の冷却器を用ひる事。

食事に用ひた皿を洗ひ、乾かし、直す事。

歐米の保育狀況

靜かに室を通る。

手を洗ふ爲に待つて居る間靜かに立つ事、手を清潔に洗ひ、元のやうに乾かす事に對し段々責任を増す。

正しくテーブルにつく事を覺る。中央に花や鉢植をおく。正しく食事する事、ランチを忘れた兒童に自己の食物を分配してやる。

注意深く冷却器を用ひる事を習ふ。

後片付をよくする習慣を養ふ。

○遊 戯

活動的のもの……自由の飛んだり、跳ねたり、蹴つたり、登つたりする事。

稍組織的のもの……かけっこ、フットボール。

組織立つたもの……各種。

△劇的のもの

自由……汽車遊び、人形遊び、砂遊び、積木、まゝごと。

稍組織的のもの……家事のまね。教會、病人と醫者、鳥、サンタクロース、キング、クエーン、プリンセス。

組織的のもの(下級にはなし)……劇的遊戯に就ては、前の例にても知れるやうに頗る簡單なもので、組織的のものは

最上級(五歳乃至六歳)の組に極僅か初歩のものを行ふのみで、決して無理な事をしない。

要するに此幼稚園では、大分變つた、又有益な體育材料を取り入れて居る事を示したのである。



薔薇の木に、

薔薇の花さく

不思議なけれど

白 秋